

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

『第44回 技能五輪国際大会』開催 ～日本選手が3種目で金メダルを獲得！～



第44回 技能五輪国際大会（44th WorldSkills Competition、主催：WorldSkills Abu Dhabi 2017）が、10月14日（土）から19日（木）まで、アラブ首長国連邦・アブダビで開催されました。

今回の大会では、日本を含めた59カ国・地域の1,251名の選手が参加して51職種の競技が行われました。

日本選手は、40職種の競技に参加し、「情報ネットワーク施工」職種、「製造チームチャレンジ」職種、「メカトロニクス」職種の3職種で金メダルを獲得し、銀メダル2個、銅メダル4個、敢闘賞17個の成績を収めました。

日本は2023年に開催される第47回技能五輪国際大会の愛知県への招致を目指しています。アブダビでは招致に向けて、各方面への働きかけも行いました。

※詳細は[こちら<厚生労働省HP>](#)をご覧ください。



日本は2023年開催の第47回技能五輪国際大会の開催地に立候補します！



□公的職業訓練（ハロートレーニング）のロゴマークを厚生労働省が決定しました

ロゴマークの選定理由としては、明るく親しみやすいデザインであり、モチーフである「鉛筆」や「ロケット」には、「学び」「スキルアップ」「ものづくり」「高度な技術」「新たな職業やスキルにチャレンジ」などのイメージが感じられ、ハロートレーニングのコンセプトが凝縮されている点を評価しました。

今後はこのロゴマークを、公的職業訓練の周知・広報のため、ポスターやリーフレット、ホームページなどへの掲載のほか、キャラクター（愛称「ハロトレくん」）としても活用していきます。



ハロートレーニング
— 急がば学ば —

「技能評価システム移転促進事業（SESPP）」では、日本式の技能検定のノウハウを移転することを目的として、日本国内及び対象国において各種研修等を実施しています。

□研修レポート

①カンボジア全国技能大会にて、技能五輪金メダリストによる電工デモを初めて実施！

カンボジアにおける電気工事士訓練技法研修および技能評価者講習。

2012年以降毎年7%前後の経済成長を遂げているカンボジアでは、活発な投資と産業開発のなかで、インフラ整備と並んで技能を持つ人材の育成が急務となっています。全国技能大会を開催するなど積極的に取り組むカンボジア政府を、日本はJICAの技術協力プロジェクトとともにSESPP事業などで協力しています。

カンボジアの職業訓練の中核的施設であるNPIC(National Polytechnic Institute of Cambodia、国立職業訓練学校)において、11月13日(月)～17日(金)の日程で、全国技能競技大会が開催されました。大会では、全国の職業訓練施設等から競技者が参加、電気工事や溶接等6職種について技能を競いました。開会式には、カンボジア労働職業訓練省のペイ・サオポアン長官、日本人商工会の菊池潤一会長(三井物産)らが来賓として出席、テレビでも取り上げられました。大会では各種サイドイベントも開催され、その一つとして、SESPP事業の電気工事に係る訓練技法研修および技能評価者講習を行いました。日本から派遣された講師が、講習に先立ちデモンストレーションを行い、日本の技能をアピール。来場者の驚きと称賛を集めました。

カンボジアでは初めての試みということもあり、政府や企業関係者、工業高校生など多数の見学者が訪れる中、活発な質問や熱のこもった実技講習が行われました。13日の大会開会式では、講師のお二人に感謝状が授与され、また、17日の講習の修了式にはカンボジア労働省のテアン・サク部長も出席し、スピーチでは日本の協力に対し感謝を述べられました。



全国技能大会



全国技能大会開会式



講習会風景(デモ実演)

②ミャンマーにおける配電盤・制御盤組立3級評価者講習

「アジア最後のフロンティア」ミャンマーで、初めての職種の講習会を実施

2010年の民政移管とともに、経済開放や対外投資が急速に進行、日本からの投資や企業進出が増加する中、技能者育成も課題となっています。SESPPでは日本式技能検定制度の導入・普及を通じて、ミャンマーの技能者育成を支援しています。

10月9日(月)～13日(金)、首都ヤンゴン市のSTC(Skills Training Center)を会場として、初の配電盤・制御盤組立3級評価者講習を行いました。講習には政府の関係機関の職員などが参加。初日から講師に次々と質問が飛び出すなど、5日間熱気のこもった講習会が行われました。

修了式では受講者から「ミャンマーは基準がないので非常に勉強になった。品質の向上で国も良くなるのでこれからも一緒に頑張りましょう。」という決意が表明されました。

② ミャンマーにおける配電盤・制御盤組立 3 級評価者講習



STC (Skills Training Center)



講習会の様子



講習会の様子

③ インドネシアにおける平面研削盤 2 級技能評価トライアル研修

ASEAN有数の工業国の人づくり (人材育成) を技能検定で支援

日系企業 1500 社以上が進出するインドネシアは ASEAN を代表する工業国として大きな発展を遂げています。インドネシアでは早くから日本の技能検定制度に注目、金型関連分野の国家技能検定では、SESPP 事業による支援もあり、日本式の課題が採用されています。これまでの取組によって多数の評価者を生み出しています。

今年は、10月25日(水)～27日(金)に平面研削盤 2 級 技能評価トライアル・技能評価認定が、ジャカルタ近郊(チカラン)の KMK (PT.KMK PLASTICS INDONESIA) を会場に実施されました。

講師から「今回の受験者のうちの 5 人は 5 年前に指導した研修生。当時に比べて確実にスキルアップしていた。今後も研鑽し、インドネシアの産業をけん引していくことを期待する」とエールが送られました。



講習前集合写真



実技試験



採点の様子

SESPP 事業で対象となる主な職種を紹介します

【機械加工職種(普通旋盤作業)】

主に金属の工作物を切削、研削等によって不要部分を取り除き、必要な形状に作り上げる機械を「工作機械」と呼びます。旋盤(普通旋盤)は工作機械の中でもっとも代表的なもので、いろいろな加工ができる便利で普及している機械です。



【電気機器組立て職種(配電盤・制御盤組立て作業)】

「電気機器組立て職種」は、電気機器を組み立てたり、それに伴う各種機器の調整や検査を対象としています。配電盤・制御盤は、電力会社から電力の供給を受ける受電点に設置され、必要な場所に電気を供給し、各種制御を行う役割を担います。

